

1. 福島市の難病支援事業

業 務		件数等（令和5年度）
申請業務	○特定医療費支給認定申請業務	申請書受理：3, 820件
	○遷延性意識障がい者治療研究事業申請業務	申請件数：83件
	○スモンに対するはり、きゅう及びマッサージ治療事業申請業務	申請件数：2件
	○先天性血液凝固因子障害治療研究事業申請業務	申請件数：26件
相談業務	○難病患者地域支援対策推進事業 ・難病患者相談事業 ・難病対策地域協議会 ・医療講演会、交流会 ・難病サポーター講座	面接／電話／訪問：4, 771件 中核市では東北初の設置 3回開催 1回開催

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

2. 事業計画

時 期	事業概要	対 象	会 場
6月23日（日） 14時～16時30分	【講演会・交流会】 日赤病院 守谷新先生の講演 参加者の交流会	パーキンソン病の患者 及び家族、一般の方	保健福祉センター 5階 大会議室
8月下旬	【交流会】 運動指導士による体操など	進行性神経難病の患者 及び家族、一般の方	
11月下旬	【交流会】 参加者の交流	膠原病の患者及び家族、 一般の方	
令和7年2月下旬	【難病サポーター講座】 研修 新規登録者獲得	一般の方、支援者、患 者及び家族	
令和7年3月上旬	【講演会・交流会】 講演（講師未定） 参加者の交流会 ※小児慢性との共同開催を検討	希少難病の患者及び家 族、一般の方	

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

福島市の難病患者（医療受給者証登録者）について、年齢、性別、疾病ごとの割合等をまとめました。また、全国の難病患者との比較を行いました。

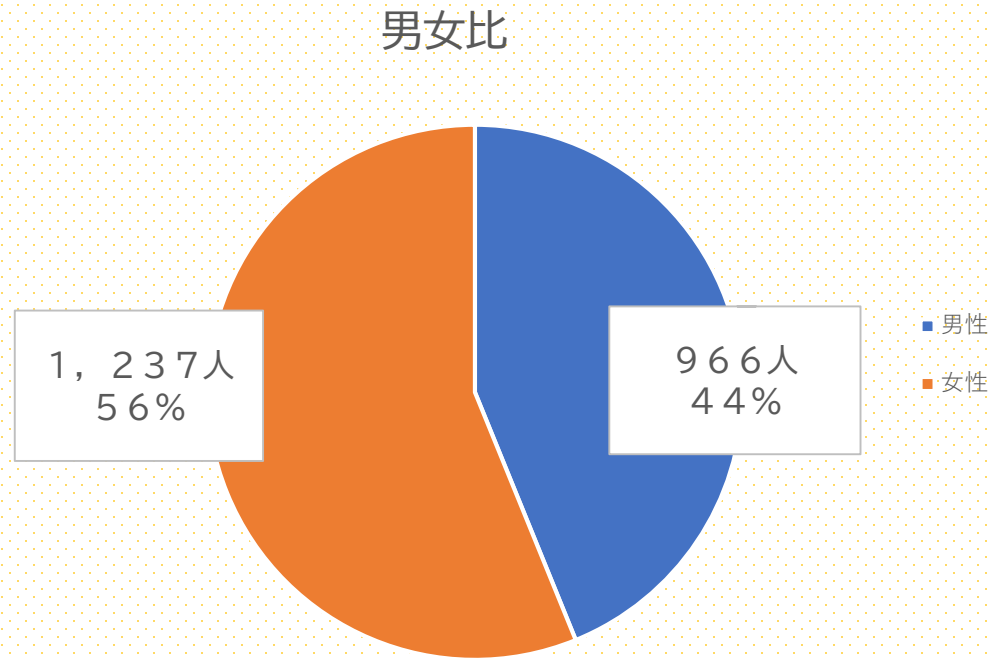
※福島市 令和6年4月16日時点の受給者 2, 203名

※全 国 令和5年3月31日時点の受給者 1, 048, 680名

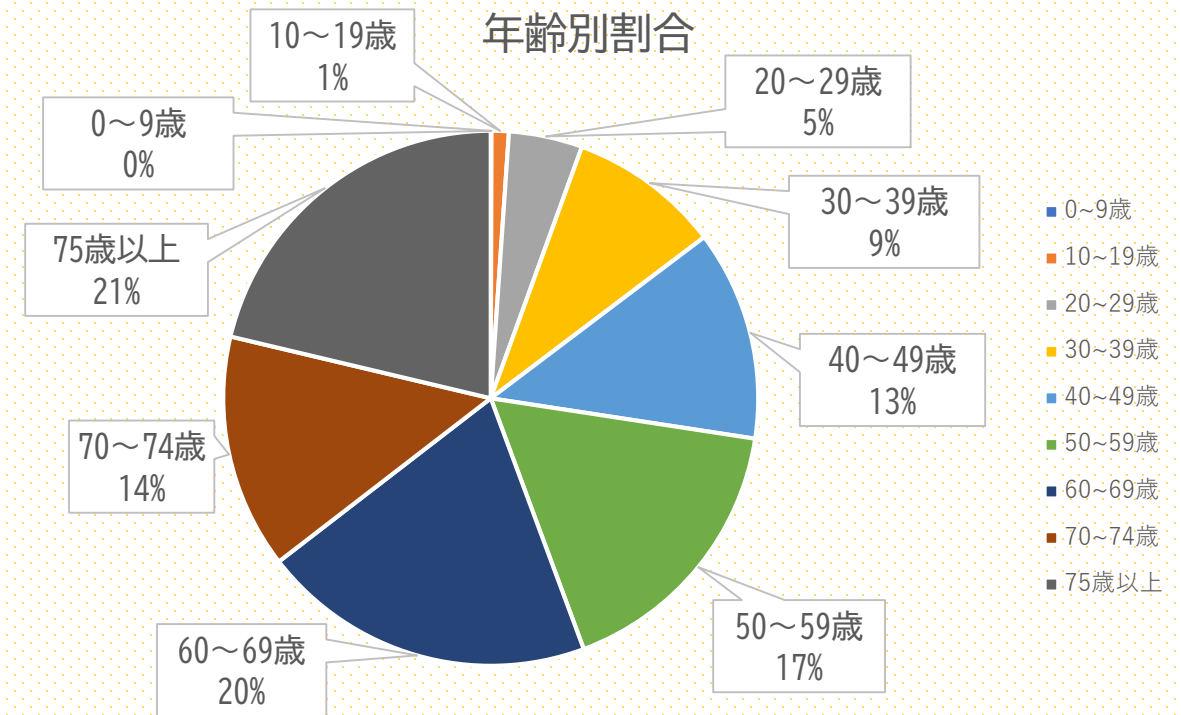
出 典：令和4年度衛生行政報告例（厚生労働省）

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

男女比及び年齢別割合

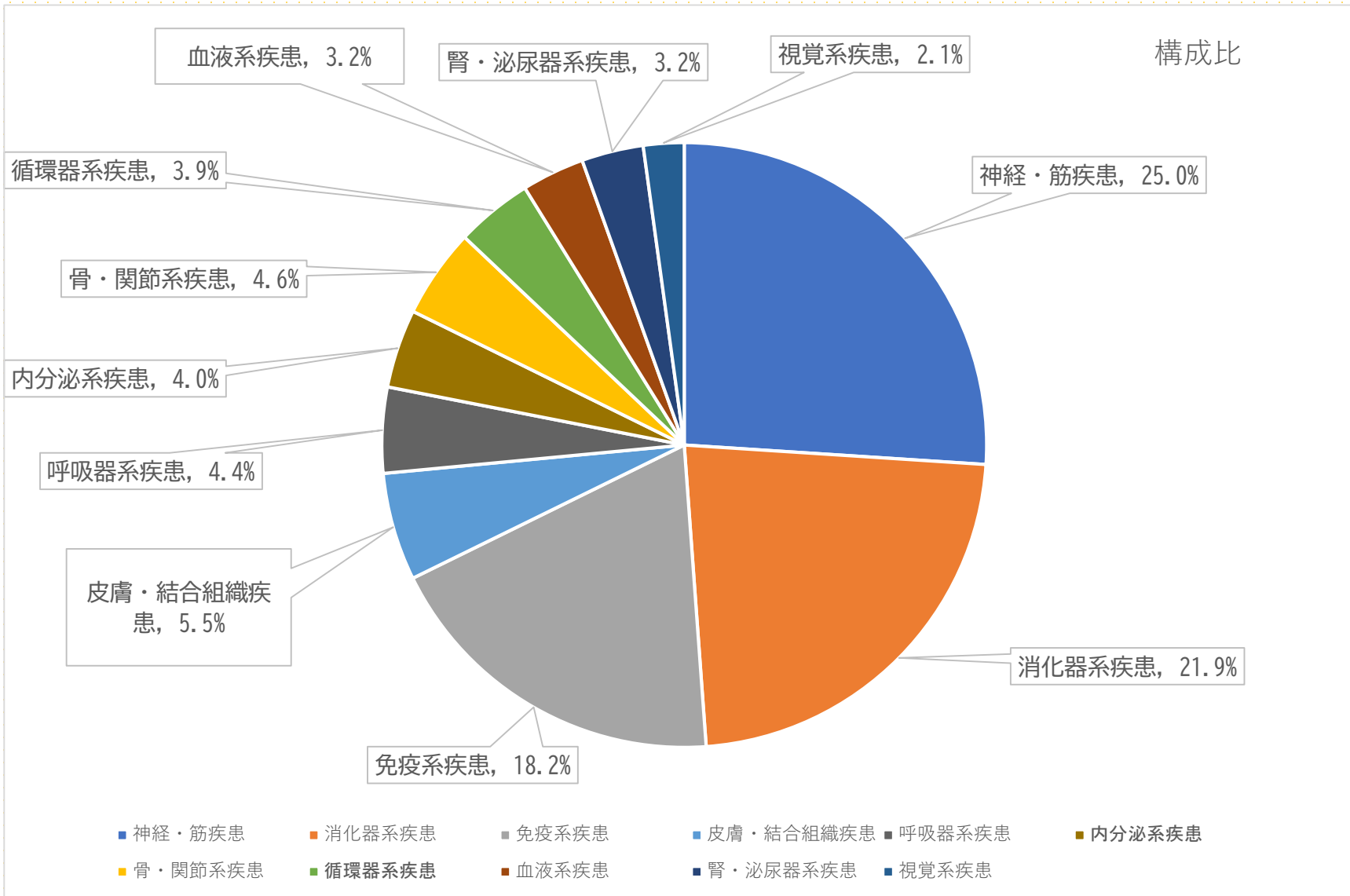


男性44%、女性56%で、
女性が271名多い。



60歳以上が55%を占める。
30歳未満は6%程度。

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について



※上位3疾患で約65%を占める

○神経・筋疾患：25%

- ・パーキンソン病
- ・重症筋無力症

○消化器系疾患：21.9%

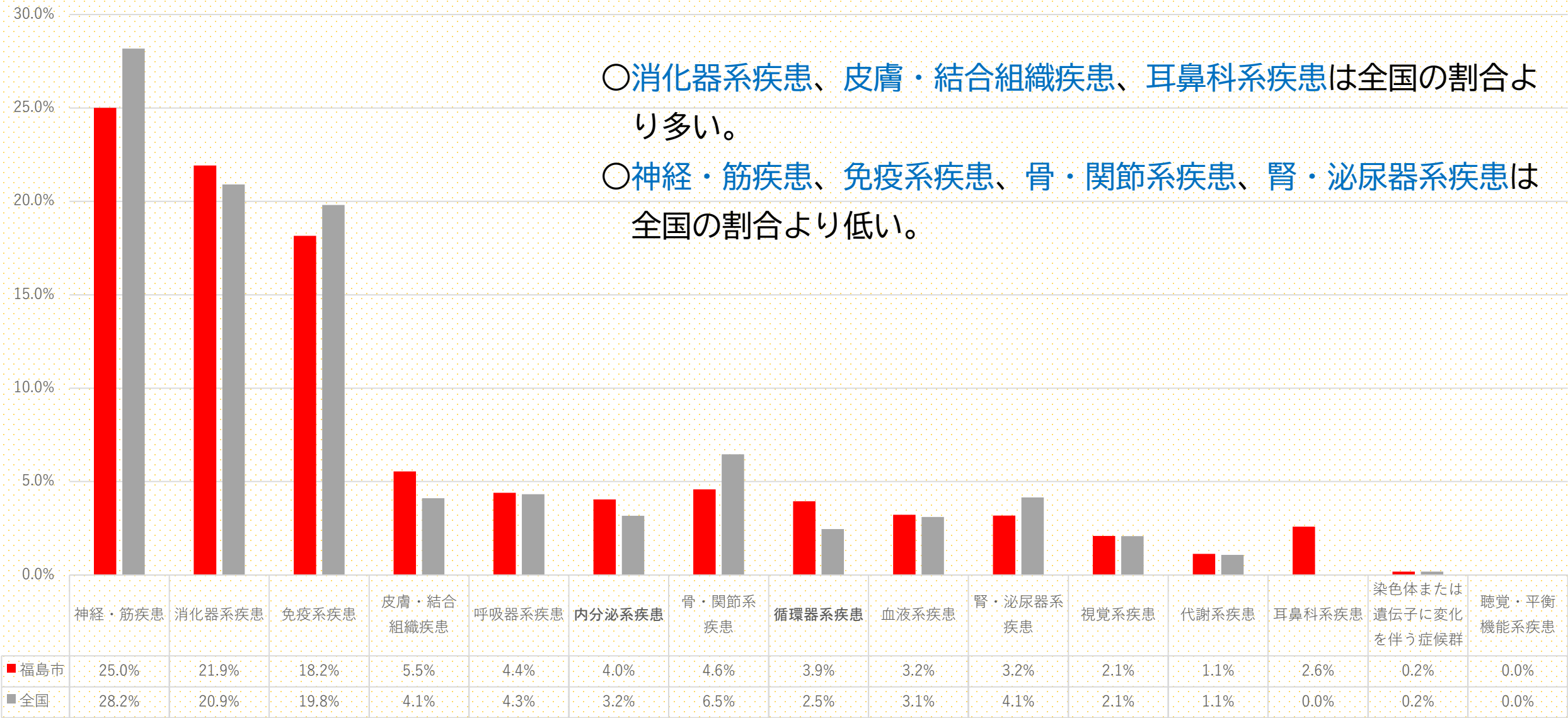
- ・潰瘍性大腸炎
- ・クローン病

○免疫系疾患：18.2%

- ・全身性エリテマトーデス
- ・皮膚筋炎／多発性筋炎

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

福島市と全国それぞれの全難病患者に対する疾患ごとの割合の比較



福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

	病 名	国患者数	国割合	市患者数	市割合	市／国割合
1	パーキンソン病	143,267	13.66%	226	10.26%	0.16%
2	潰瘍性大腸炎	141,387	13.48%	279	12.66%	0.20%
3	全身性エリテマトーデス	65,145	6.21%	137	6.22%	0.21%
4	クローン病	50,184	4.79%	112	5.08%	0.22%
5	後縦靱帯骨化症	31,571	3.01%	37	1.68%	0.12%
6	全身性強皮症	27,013	2.58%	63	2.86%	0.23%
7	脊髄小脳変性症	26,476	2.52%	64	2.91%	0.24%
8	重症筋無力症	26,387	2.52%	63	2.86%	0.24%
9	皮膚筋炎／多発性筋炎	26,046	2.48%	55	2.50%	0.21%
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	23,105	2.20%	49	2.22%	0.21%
11	好酸球性副鼻腔炎	22,340	2.13%	57	2.59%	0.26%
12	網膜色素変性症	21,263	2.03%	45	2.04%	0.21%
13	下垂体前葉機能低下症	19,693	1.88%	55	2.50%	0.28%
14	シェーグレン症候群	19,290	1.84%	39	1.77%	0.20%
15	特発性大腿骨頭壊死症	19,256	1.84%	38	1.72%	0.20%
16	特発性間質性肺炎	18,399	1.75%	28	1.27%	0.15%
17	特発性拡張型心筋症	18,234	1.74%	77	3.50%	0.42%
18	原発性胆汁性胆管炎	16,625	1.59%	73	3.31%	0.44%
19	特発性血小板減少性紫斑病	16,599	1.58%	40	1.82%	0.24%
20	サルコイドーシス	15,627	1.49%	42	1.91%	0.27%
21	ベーチェット病	15,157	1.45%	43	1.95%	0.28%
22	もやもや病	13,544	1.29%	40	1.82%	0.30%
23	IgA腎症	13,354	1.27%	16	0.73%	0.12%
24	一次性ネフローゼ症候群	12,889	1.23%	14	0.64%	0.11%
25	進行性核上性麻痺	12,830	1.22%	10	0.45%	0.08%
26	多発性嚢胞腎	12,790	1.06%	35	1.59%	0.27%
27	顕微鏡的多発血管炎	11,078	1.06%	16	0.73%	0.14%
28	多系統萎縮症	10,808	1.03%	25	1.13%	0.23%
29	混合性結合組織病	10,099	0.96%	20	0.91%	0.20%

○全国で1万人以上患者がいる疾病を抽出し、福島市の状況と比較した。

○全国の患者数に占める福島市の患者数の割合は、疾病に関わらず概ね0.2％である。
（全人口に占める福島市の人口も約0.2％）

ただし、特発性拡張型心筋症や原発性胆汁性胆管炎の患者は0.4％以上と高い。

後縦靱帯骨化症や進行性核上性麻痺は約0.1％と低い。

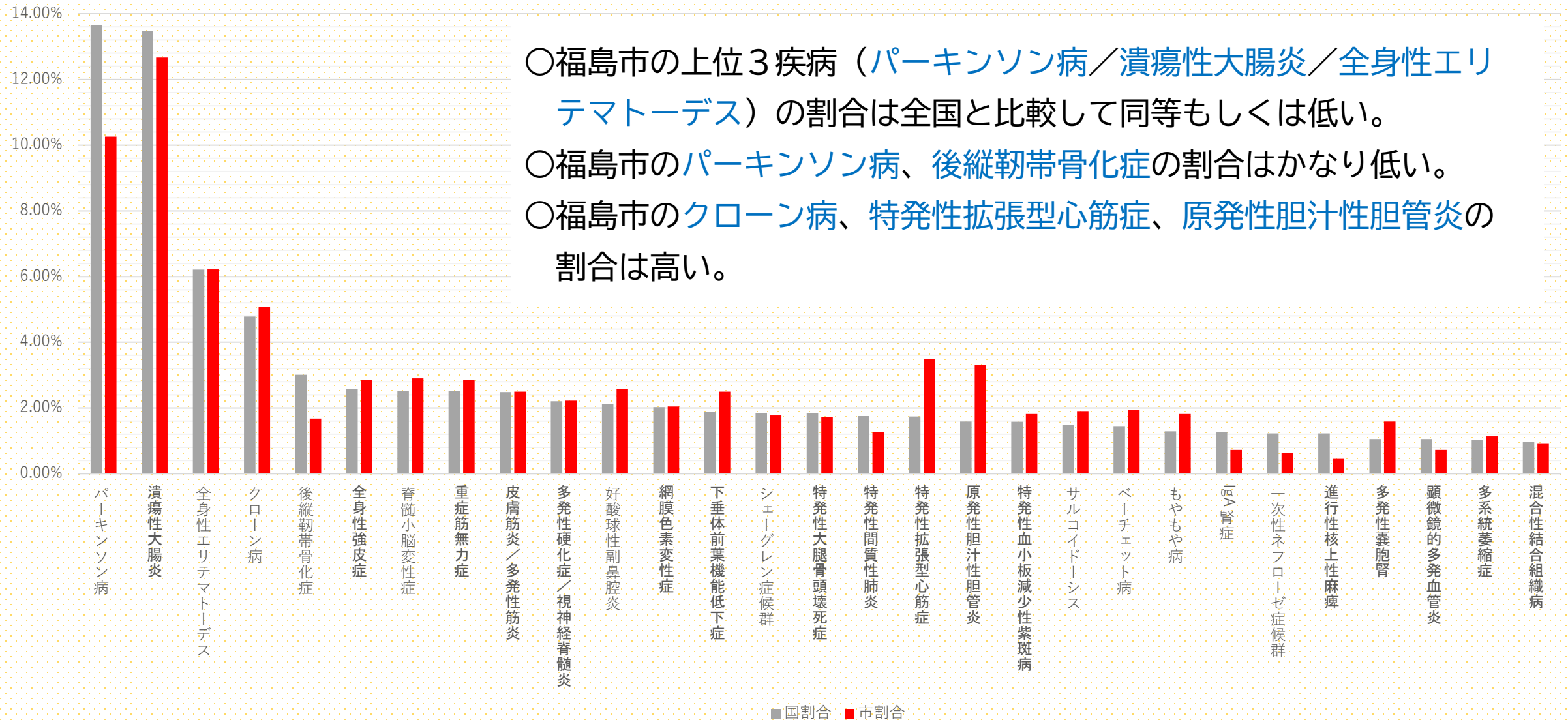
※国割合＝疾病ごとの患者数÷全国の全患者数×100

※市割合＝疾病ごとの患者数÷市の全患者数×100

福島市の難病支援事業及び難病患者の分析について

福島市と全国それぞれの全受給者に対する疾病ごとの割合の比較

※全国で1万人以上の患者がいる29疾病

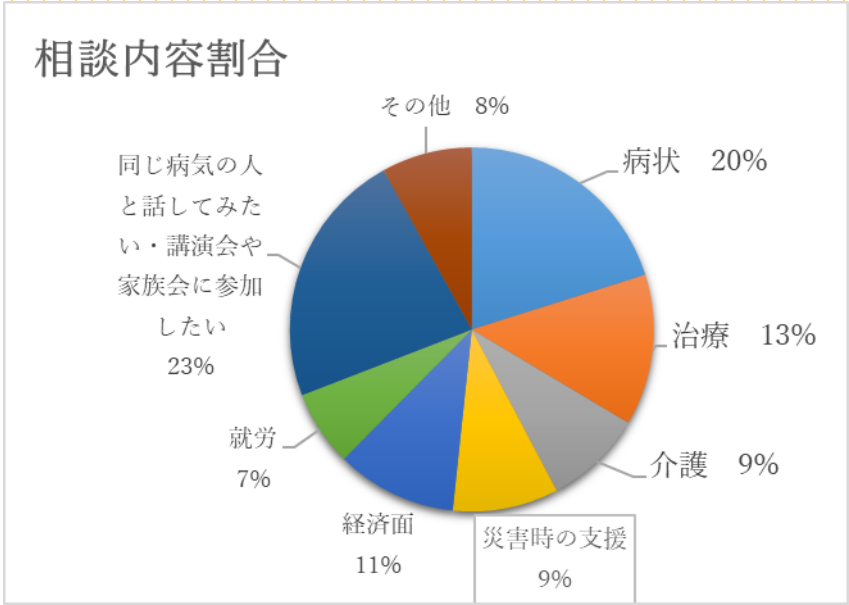


- 福島市の上位3疾病（パーキンソン病／潰瘍性大腸炎／全身性エリテマトーデス）の割合は全国と比較して同等もしくは低い。
- 福島市のパーキンソン病、後縦靱帯骨化症の割合はかなり低い。
- 福島市のクローン病、特発性拡張型心筋症、原発性胆汁性胆管炎の割合は高い。

令和5年度 指定難病医療費受給者証更新時のアンケート結果

難病受給者証更新の際にアンケートを実施し、2,072名のうち、1,685名（81.3%）から回答をいただいた。
回答者のうち、85名（5%）から保健所に相談したいと回答があった。

- ・相談の内容としては、「同じ病気の人と話してみたい・講演会や家族会に参加したい」が最も多く、「病状」「治療」「経済面」「災害時の支援」「介護」「就労」の順に相談内容が多い。
- ・相談希望者の多い病気はパーキンソン病であり、「病状」「治療」「介護」への相談が多い。
- ・具体的な相談内容としては、介護保険の申請などサービスに関する相談や治療中の薬が効きにくい等の相談あり。
- ・「同じ病気の人と話してみたい・講演会や家族会に参加したい」という相談はどの病気にもあり、患者同士の交流を望んでいる方が多いと分かる。



相談ありの者病名一覧			
パーキンソン	13	強直性脊椎炎	1
潰瘍性大腸炎	7	巨大動静脈奇形	1
クローン病	6	筋委縮性側索硬化症	1
全身性エリテマトーデス	6	原発性抗リン脂質抗体症候群	1
脊髄小脳変性症	5	原発性免疫不全症候群	1
網膜色素変性症	4	好酸球性副鼻腔炎	1
シェーグレン症候群	3	サルコイドーシス	1
IgG4関連疾患	2	成人スチル病	1
下垂体前葉機能低下症	2	全身性強皮症	1
原発性胆汁性胆管炎	2	多系統萎縮症	1
顕微鏡的多発血管炎	2	多発性硬化症	1
好酸球性多発血管炎性肉芽腫	2	特発性拡張型心筋症	1
重症筋無力症	2	特発性血小板減少性紫斑病	1
神経線維腫症	2	特発性大腿骨頭壊死症	1
多発性嚢胞腎	2	ドラベ症候群	1
特発性間質性肺炎	2	肺胞低換気症候群	1
ベーチェット	2	皮膚筋炎	1
IgA腎症	1	表皮水疱症	1
球脊髄性筋萎縮症	1	もやもや病	1